

疫学研究に関する情報公開

福島県立医科大学眼科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の疫学研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 24 年 9 月

福島県立医科大学医学部眼科学講座 副部長

【研究課題名】

赤外線によるマイボーム腺形態観察

【研究期間】

平成 24 年 9 月～平成 29 年 8 月(5 年 0 ヶ月)

【研究の意義・目的】

近年、ドライアイの患者さんが増加していますが、その原因に関しては未だ不明な点が多いです。従来、ドライアイ発症には主に涙液量が関与していると考えられてきましたが、涙液中の油層も発症に関与していることが指摘されています。涙液の油層は涙液の蒸発を抑え、瞬目時に発生する摩擦を軽減する働きがあります。油層は上下の眼瞼に存在するマイボーム腺から分泌されるマイボーム腺分泌脂により形成されることから、油層の異常はマイボーム腺機能不全が原因と考えられています。マイボーム腺は結膜下にあり全長に渡りその形態を把握することが困難でした。最近、赤外線を用いることにより非侵襲的にマイボーム腺形態を観察することが可能となりましたが、マイボーム腺の機能および疾患との関連について十分に解明されてはいないというのが現状です。

今研究の目的は、診療で撮影されたマイボーム腺の画像データと種々の眼科疾患、点眼薬、手術の関連を疫学的に調査し、マイボーム腺形態と機能、疾患との関連を明らかにすることにより、ドライアイの原因を突き止め治療に役立てることができます。

【研究の方法】

赤外線撮影用のカメラ、またはペン状の小型カメラを用いて前眼部の撮影を行います。眼瞼の反転はいたしますが、痛みや眩しさはほとんどない検査です。研究にはこの他、ドライアイの検査など、疾患の診断に必要な検査を診察時に行った結果を用いて行います。費用が別途必要になることはありません。

【研究組織・研究機関名】

研究責任者整形外科学講座准教授 石龍鉄樹
主任研究者整形外科学講座准教授 石龍鉄樹
分担研究者眼科学講座博士研究員 佐柄 英人
眼科学講座助手 野地 裕樹
眼科学講座病院助手 小笠原 雅
眼科学講座専攻医 小山田 紘

【人体から採取された試料等の利用について】

人体から採取された試料は利用しません。

【他の機関等への資料等の提供について】

他の機関に資料は提供しません。

【研究者が保有する個人情報について】

研究者が保有する個人情報に関し、被験者ご本人または代理人の方が開示、訂正、利用停止及び第三者への提供の停止の請求を行う場合、福島県個人情報保護条例に基づく手続きが必要になります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書等の交付に係わる費用(コピー代等)をご負担いただきます。

【本研究に関する問い合わせの窓口】

○ 研究内容に関する問い合わせの窓口

〒960-1295 福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部眼科学講座 担当 石龍 鉄樹

電話 024-547-1301 FAX 024-548-1228

E-mail sekiryu@fmu.ac.jp

○ 個人情報に関する窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学総務課大学管理係

電話:024-547-1007 FAX: 024-547-1995

○ その他御意見の窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学研究推進課研究支援担当

電話:024-547-1825 FAX: 024-547-1991

E-mail:rs@fmu.ac.jp